

巻地区公民館運営審議会会議概要

実施年月日	令和5年度 第1回巻地区公民館運営審議会 令和5年7月25日(火) 午前10:00~11:40		
会 場	巻文化会館 大ホール	傍聴人	0人
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員(10人) 福島議長、石井副議長、天野委員、石田委員、海津委員、吉川委員、小林委員、頓所委員、野口委員、鷺津委員 ・事務局(11人) 巻地区公民館 : 加藤館長、朝妻 峰岡公民館 : 笹川館長 岩室地区公民館 : 池田館長、関谷 西川地区公民館 : 樋浦館長、大倉 潟東地区公民館 : 阿部館長、佐久間 中之口地区公民館 : 熊谷館長、野崎 		
審議案件	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新潟市公民館事業の基本方針について (2) 令和4年度 公民館事業報告について (3) 令和5年度 公民館事業計画について 		
<p>(巻地区公民館長あいさつ、委員と職員の自己紹介、正副議長の選出、選出された福島議長及び石井副議長あいさつ)</p> <p>以下、審議された議題について記載する。</p>			
内 容	<p>(1) 新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>◎巻地区公民館長から資料1について説明しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問意見なし <p>(2) 令和4年度 公民館事業評価について</p> <p>◎資料2について、各地区公民館から説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <p>〈巻地区公民館〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰岡、漆山公民館について、重点課題1、2、3に対応した事業はないか。 <p>→該当する事業なしということ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の居場所づくりの子どもの居場所の具体的な場所と周知方法につ 		

<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>いてどうなっているか。</p> <p>→巻地区公民館の1階の元図書室であった場所を子どもの居場所・生涯学習室として9時～19時まで一般開放している。市報に関連記事が掲載される際に載せている。</p> <p>・2. 3家庭教育力向上の支援事業で、幼児期家庭教育学級は3回開催で参加人数は7人、西蒲区保育者交流会は1回開催で参加者が4人で、事業評価はBとなっているのはどうしてか。</p> <p>→西蒲区保育者交流会は、実務の職員の交流会ということ、幼児期家庭教育学級は、コロナ禍で増えたおうち時間の中で、親子のコミュニケーションをより図ることで今まで以上の信頼関係の構築を目指すということで実施した。評価については、目的や、今後も続けていく必要があるかという考えから評価Bと評価し、今後も継続していく必要があると考えている。</p> <p><岩室地区公民館></p> <p>・12番の発達障害の理解を広げる喋り場が事業の廃止の理由は何か。</p> <p>→公民館主導で始まって7、8年が経ち、グループはサークル化できるようになったため。</p> <p><西川地区公民館></p> <p>・ゆりかご学級は参加者なしということでCで今年度は予定がないが、必要なものであればやっていった方が良い。コロナ禍で本当は参加したいけれど参加できなかった方がいるのではないか。</p> <p>→ゆりかご学級については、西蒲区内の各公民館の持ち回りで、西川地区公民館では今年度やる予定がないということ。応募が少ないこと、予算の関係や健康福祉課でもこういった事業あるので公民館の役割としてどうかということでCという評価にした。</p> <p><潟東地区公民館></p> <p>・スマホ教室の連携先や予算についてどうなっているか。</p> <p>→ドコモと連携して行った。連携する会社は変更し、今年はソフトバンクと連携して行った。予算、講師料等はいかからない。</p> <p><中之口地区公民館></p> <p>・スマホ教室について、わかりやすい丁寧な説明で参考になると思うが連携先はどこか。</p> <p>→ドコモと連携して行った。今年度も初心者を対象に10月～11月にかけて、実施予定。講師料は無料、丁寧な説明で参加者満足度が高かった。</p> <p>・28番のもこもこコンサートとはどのようなものか。</p> <p>→農作業が始まる前に何か皆さんを元気づけようという意味合いで行った。出演者は生まれながらに障がいのある方で、家族に支えられながら親しみの</p>
--	--

内 容

ある曲目を演奏し、参加者は大変喜んでいました。

〈全体を通して〉

・資料から巻地区は、他の団体との連携が少なく、ほかのところは多いがその違いは何か。

→コミ協と連携している事業が昔から多くある地域は、連携が多くなっている。巻地区公民館は事業で巻南小学校と連携しており、峰岡と漆山公民館についてはコミ協が主体となって事業をやってもらっているという意味で連携している。連携できるものはしていきたいが、なくてもできるものは単独で事業を実施している。

・連携について良い面を見ると、学校やこども園と連携している事業が多くみられてきた。

・子育て事業の実施については議論し、地域のニーズを把握して、それなりの結論を出しておくことが必要なのではと考える。身近な相談場所が十分ではないところがあるので目を向けておく必要がある。

・ドコモ、ソフトバンクなどの企業との連携講座の実施についてぜひ検討してほしい。

・事業のネーミングについて、わくわくするようなもの、見たときになんだろう行ってみようと思わせるネーミングが大事と思う。

(3)令和5年度 公民館事業計画について

◎資料3について、各地区公民館から説明しました。

・令和5年度事業計画で、巻地区公民館の事業の数が少ない理由と他の館での新たな事業の発想方法についてどうなっているか。

→巻地区公民館では、コミ協等と一緒にやっている事業が少ない。その理由として巻地区はコミ協が5つあり、それぞれのコミ協で活動しているため。また今年度、館内の空調工事をやっている関係で新規事業を計画していないこと、企業との連携事業について計画に至っていないことなどがある。

→新規の事業の発想については各館でやっているというのが現状、他館の資料を参考に企業との連携講座を考えたりしている。

・ほかの公民館の事業に参加することは可能か。またチラシは他の公民館にもあるのか。

→チラシは双方の館や近隣の公民館や公共施設に配置しており、市内のどの公民館でも受講することは可能。

・学校の立場で考えたときに、家庭の教育力向上の支援ということろでは、学校では発達障害の生徒が増えているという現状にあって、家庭でも保護者の方は幼い段階から発達障害の知識を得ていく場があるというのは良いと思う。そういったところを今後も考えていただければ有難い。

<p style="text-align: center;">内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館が知恵を出し合って公民館の中のコミ協との連携だとか巻地区の公民館同士の繋がり、西区の公民館との繋がり、そういう繋がりを感じ公民館事業として門戸が開かれていると感じた。それに対してアピールはどうしていくのが問題になってくるのかなと考えたときに、学校の方でもチラシを配るだけではなく、ちょっとさわりの部分を実際にやってみるという場面ができると子ども達もどんどん参加できていくのかなと思った。 ・長年公民館事業に関わっている。年々予算が減らされて、職員はやる気を持ってやれない状況なのではと思う。私は文化が無くなるのではとの思いから、無償でホールボランティアをやっているが、養成講座もやりながら続けていきたいと思っている。 ・それぞれの館が地域性を活かして公民館事業を考えているなど思った。地域の人と良く連携して新しい事業を作っているようだ。またオンライン講座の話もあるということで、いつでもどこでも誰でもという生涯学習の理念の実現がITが進んできて現在進行形で進んでいるといことは、大変評価できる話ではないかと思っている。 <p>以上</p>
--	--